

次年度に向けた改善方策

- ① 数値目標は、下記項目を設定する。
 - 授業内容を工夫改善し生徒が理解しやすい授業にする。
「授業内容はよく理解できる」という生徒の割合 75%以上を目指す。
 - 部活動などを充実させ生徒の個性の伸長を図り、充実感を更に高める。
「部活動は充実している」という生徒の割合 75%以上を目指す。
 - 地域との連携活動をより充実させ、地域と共に育てる教育を推進する。
「地域の活動や行事によく協力してくれる」という地域の割合 75%以上を目指す。
- ② 土曜授業参観日を増設する。
このことにより、保護者の学校教育への参加・協力する意識等の向上と、学校教育への信頼を増す。
- ③ 校内特別委員会の「地域活動委員会」の活動を活性化する。
このことにより、深沢中型の地域連携の在り方と具体的な行動を推進し、学校・保護者・地域が一体となって生徒の成長を促す。
- ④ 校内特別委員会の「情報管理・HP委員会」の活動をより活性化する。
このことにより、情報の管理、情報の伝達等を的確に行い、保護者・地域等からより信頼される学校づくりを推進する。
- ⑤ 小中三校連絡会を年6回定期的に開催する。
このことにより、世田谷9年教育の推進を図る。

前年度の改善方策について実行した改善結果

- ① 校内の特別委員会として、「地域活動委員会」を新設する。
このことにより、深沢中型の地域連携の在り方と具体的な行動を推進し、学校・保護者・地域が一体となって生徒の成長を促す。
・評価結果によると、初年度としての成果をあげることができた。
- ② 特別委員会として「情報管理・HP委員会」を新設する。
このことにより、情報の管理、情報の伝達等を的確に行い、保護者・地域等からより信頼される学校づくりを推進する。
・評価結果によると、ホームページは有効活用できた。
- ③ 土曜授業参観日を新設する。
このことにより、保護者の学校教育への参加・協力する意識等の向上と、学校教育への信頼を増す。
・新設したことによる保護者評価は高い。
- ④ 三者面談期間を1学期に設定する。
このことにより、保護者との信頼関係をより深める。
・1年生保護者の評価は高い。
- ⑤ 数値目標は、同じ項目に設定する。
内容・実施策等を更に検討することにより、充実を図る。
・微増、停滞にとどまった。